イメージ部門
優秀作品

福岡市中央区
江島さま

「飾り山、我が家の場合」

近頃、2人の子供を連れて博多の古い町並みを散策することが多くなった。子供たちの1番人気は、ふるさと館でみた、放生会の縁日を模した模型だった。のぞき穴から垣間見る、一昔の空間に、しばらく離れなかった。「お母さんも子供のころ、お祭りで見ていたの。こんなふうなところに住んでいたの」気付くと、私たちの少年少女時代の話しに、熱心に耳を傾ける子供の姿があった。帰宅後。「そういえば自分たちが子供のころの話しをあまりしていなかったな」と夫。博多の街から、ささやかな贈り物をもらった気がした。

5年前博多に移り住んで以来、家族で、時には一人で歩いた博多の街。その中で夫が中心に撮った写真、約5千カットの中から、我が家が体感した博多を選び直し、コラージュしてみました。